

和小学校、肱川中学校の2
団体が新規に結成をされ、
現在豊茂小学校、柳沢小学
校、蔵川小学校、中野小学
校、河辺中学校と合わせて
7団体が、地域の清掃など
のボランティア活動、また
森林の持つ多面的な機能に
ついて学ぶとともに山林で
の枝打ち、間伐、植樹など
緑、森林、自然に触れ合う
多様な活動を行っています。
また、当市の支援状況に
ついては、大洲市少年自然
愛護活動事業補助金により
活動支援を行うとともに、
新規結成時には基本的な装
備の購入に対し補助を行っ
ています。

緑の少年団活動は、子ど
もたちが自然に触れ合い、



花植え活動（柳沢小学校）

循環バス導入

問 中心部交通と周辺部交
通の整備順位について

答 中心部においては、既
存の路線バスの運行に
より、国道56号沿線を初め、
一定の交通便利性が確保さ
れてはいますが、1時間に
何便ものバスが運行するこ
ろといった状況ではなく、大洲
拠点地区など市街地が一定
の広がりを見せ公共施設も
点在をしている中で、その
運行の充実が課題となっ
ています。

さらに、病院施設等が多
く立地する田口、市木、東
大洲地区においては、路線
バスが運行されていない交
通空白地となっています。
このような状況から、ま
ずは周辺地域から中心部に



1月11日から運行を開始した循環バス

出かけられる方々も含め、
多くの市民の皆様が御利用
いただける中心部交通を優
先して整備するものであり、
その上で小学校統廃合計画
に合わせて、幹線交通や地
域内交通についても順次整
備をしていくということ
地域公共交通会議の結論を
得まして、大洲市公共交通の
基本方針として定めました。
中心部交通における路線
バスの運賃差額助成制度は、
循環バスと既存の路線バス
が競合するのではなく共存
できるよう、また市民の皆
様にとって交通の利便性の
向上をねらいとしたもので、

市民の皆様を初め、多くの
皆様にこれを知っていただ
くとともに、一番にはバス
を利用していただくという
ことが最も重要なことであ
るので、市内の公共交通の
時刻表の作成、配布を初め
とする広報活動、またノー
マイカーデーの実施なども
併せて取り組みたいと考え
ています。

山鳥坂ダム

問 完成見込みについて

答 山鳥坂ダム建設事業は、
関係機関及び地元岩谷
地域や関係者の御理解、御
協力をいただき、事業が順調
に進捗しているところです。

平成18年7月28日に、用
地調査の前提となる基本協
定書が締結され、貯水池の
用地、物件調査がほぼ終了
し、付け替え県道等の用地、
物件調査が順次実施されて
います。また、補償基準策
定のための調査も実施され、
年度末の補償基準合意に向
けて努力していただいでい
ます。また、平成20年5月
に環境影響評価が完了した

ことから、8月11日には付
け替え県道の建設に伴う工
事用道路に着手されたこと
ろです。補償基準の妥結が
できれば、その後3年間程
度で用地買収を行い、付け
替え県道、ダム本体工事を
順次進め、河川整備計画
中期の平成31年度ごろまで
山鳥坂ダム事業の完成を目
指されています。

肱川漁協への対応につい
ては、事業者である国土交
通省では、まずはダム事業
に対して御理解をいただく
ため、計画説明会を要請し
ており、引き続き御理解、
御協力が得られるよう努力
されていく意向であると伺っ
ています。



山鳥坂ダム建設に向け着工した関連工事